

こんにちは



平成26年 納涼号

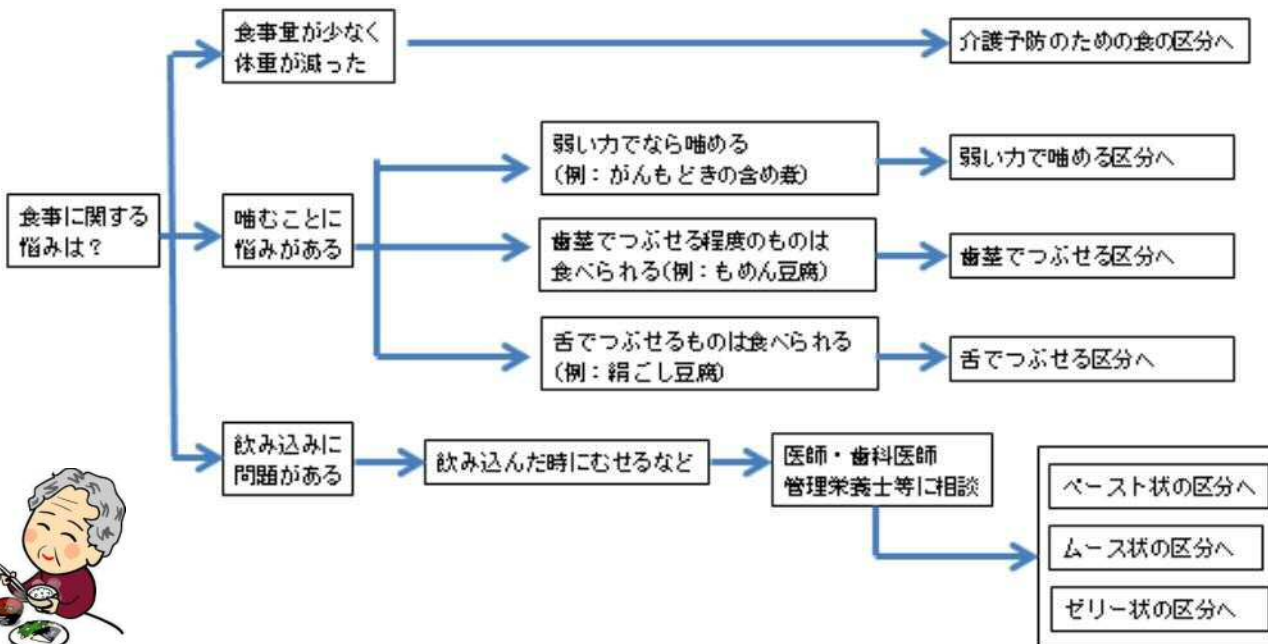
介護食品の購入をわかりやすく・・・

「食べる力」が弱くなると、いつも食べている食事が噛みづらくなったり、飲み込みにくくなります。食べやすくするためには調理に色々工夫が必要になりますね。毎日続けるのは大変です。そんな時、市販の介護食品で一品増やしたご経験がある方も多いと思います。“介護食品”はドラッグストアなどで販売され、多種多様でどれを買ったら良いものか迷ったこともあると思います。そんな介護食品について検討会議が行われました。



農林水産省が「介護食品の在り方に関する検討会議 認知度向上に関するワーキングチーム」を開催（6月17日）し、介護食品についての明確な範囲を確定し区分を設ける事に関して検討した。個人の「食べる力」に応じて介護食品に7つの区分を設け、フローチャート形式で図式化し、ドラッグストアなどで適切な介護食品の区分をみつけやすく、購入をわかりやすくすることで、高齢者や障害者の低栄養などの社会問題を克服することに向けた検討がなされた。

「新しい介護食品」の区分（素案）



7月に最終検討会が開催される予定です。介護食品の区分についてさらに検討内容が深められ、私達が介護食品の購入の際、参考になるような変化が起こることを期待したいです。最終的な決定内容がわかりましたら、“こんにちは”の中で報告したいと思います。

～キネステティックの勉強会～

葭田美知子先生をお招きし、移乗移動動作や排泄ケアの講義・実技研修を行いました。

キネステティックとは？

介護される側のできない部分を補助する概念・方法です。まずご本人に動いてもらいどの部分をサポートする必要があるのかを観察・評価し、活動の程度や動ける範囲を把握します。自力で動けない方には残っている機能を利用し、効率の良い自然な動きを介助します。

これらにより介護される側の不安が減り、結果的に合理的な介助となります。



<参加者の感想>

- ・オムツ交換やトイレ移乗の介助法についての実技を行い、訪問時すぐに役立つ勉強ができてよかった。
- ・自分自身のケア方法を再確認できた。

毎年この研修を繰り返すことで、スタッフ一人一人が、自身自身のケアを振り返り、より一層精進しなければと気持ちを引き締める機会となっています。

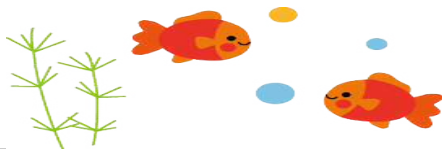
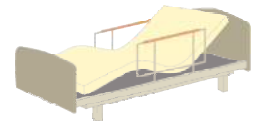
～最近の介護用ベッド事情～

20年程前、病院の入院患者さん用のベッドといえば・・・まさに手動式ベッドでした！ベッドの足元側に折りたたみ式のハンドルが付いていました。それを回すとベッドの頭側が上がったり下がったりするのです。ご存知の方いらっしゃいますでしょうか？

今はベッドの角度や高さをリモコンで操作できるものが、介護用ベッドとして当然という時代です。

より快適となるためのベッドの機能はもちろん必要ですが、3年前の東日本大震災をきっかけに、防災対策のための機能も考えられるようになっています。

停電に備え充電器の購入を考える方もいらっしゃいますが、最近では停電時に電動ベッドに取り付けてハンドルを回して操作ができる付属品が出てきています。



編集後記

じっとり暑い日々が続きますね。。。早く梅雨があけて欲しいものです(^-^)/
暑い日が続くと、アイスがおいしいです！
夏太りには気をつけます♪ (前田)

【目安箱】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

910-6327 主任管理者 吉井

7月25日 かき氷の日

日本かき氷協会が制定しました。夏氷（かき氷のこと）の日とも呼ばれています。

「な（7）つ（2）ご（5）おり」の語呂合わせに加え、1933（昭和8）年のこの日、フェーン現象によって、山形市で日本最高気温の40.8度が記録されたことにちなんでいます。

最近では毎年のように40度を越える地域がありますが、昭和初期では大変珍しいことだったのでしょね。

冷たい物の食べ過ぎ・飲み過ぎにはご注意ください！

